



## 「協力・共存・響き合」った思い出を胸に

いよいよ3月13日（金）、卒業証書授与式を迎えます。

卒業式は、3年生にとって最後の学校生活の場であり、学びの場です。なによりも卒業生にとって3年間の集大成となる時間であり、在校生がその姿を見て想いを受け止め、次の一中をつくる覚悟をする場です。

これまで3年生は「with3～協力・共存・響き合い」の生徒会テーマを通して、江別第一中学校をさらに高みに導いてくれました。

体育祭では、4人のうち2人がアイマスクをしてバランスボールを得点レーンまで運ぶ、新種目「UFO」が生み出されました。ルール上の疑問や課題が学年練習で明らかになり、課題を整理し全校生徒に知らせながら、競技を成立させ、様々な体験と達成感を与えてくれました。



文化祭では、心がこもる圧倒的な声量の合唱を聴かせてくれました。義務教育最後の年に、全力で取り組み表現する迫力と、想いを共有して学級や学年で団結する姿を見せてくれました。

生徒会役員はもちろん、3年生全員が一人ひとりの努力と気持ちで全校生徒をリードし、生徒会スローガン「with3～協力・共存・響き合い」に向け、一中を牽引してくれました。



## 卒業式での「まだ見ぬ自分へ」挑戦する姿を！

今年度後期からの生徒会テーマは「未来航路～まだ見ぬ自分へ～」。「自分の未来や将来に向かって、広い海を進むように自分の可能性を切り開いていく」ため、1・2年生による生徒会役員を中心にテーマが決まりました。3年生が「まだ見ぬ自分へ」向かう姿勢を示し、最高の卒業式となるよう、「挑戦」してください。それは、毎日の授業、朝読書や行事に集中する3年生の姿をみてきた私には、すぐに浮かんでくる光景でもあります

3年生の皆さんとともに過ごす最後の時間、卒業式を楽しみにしています。

